

特定非営利活動法人 生活学舎のんき



障がい福祉サービスのクリエイティブな展開と、多様性のある共生社会の創造

お問い合わせ Tel・Fax 0154-64-2066
HP : <http://nonki.jp>



障がい者へのウェルネスな リハビリの提供を

精神障がい者ケア付き下宿を前身とするNPO法人生活学舎のんき。十数年に及ぶ実績から、人の自立と成長は生活指導や就労指導だけで実現できるものではないとし、社会で暮らすための方法やカタチはさまざまという方針を実践しています。

共同生活援助支援(生活支援)や就労継続支援B型(就労支援)の他、文化・芸術表現(パフォーマンス活動)、行事、レクリエーション、遊びなどを総合的な支援を実現。

人間を形成する要素のバランスが取れた、無理なく、爽快、ハッピーなど健康的で元気な人生を送れる開放的支援を目指しています。



会社概要

法人名：特定非営利活動法人
「生活学舎のんき」

〒085-1206
北海道阿寒郡鶴居村東4丁目17-1

創業年：2009年
(NPO法人「生活学舎のんき」開所)

代表者：大木 博

従業員数：23名

一言PR



大木 博
代表理事

約100年前、「我が国幾十万の精神病者は病を受けたるの不幸の他に、この国に生まれたる不幸を重ねるものと言うべし」と痛烈な言葉が残されましたが、障がい福祉サービス支援事業は今も多くの課題を抱えています。いつの時代も子ども、高齢者、障がい者の犠牲の上に社会があってはなりません。「生活学舎のんき」は障がい者を世の光と受け止めて、共に学び成長しながら暮らせる地域を目指しています。互いに許し合える寛容で持続的な障がい福祉に努めます。

共同生活援助支援 ～グループホームから単身生活～

グループホームでは障がいや社会生活に困難を抱える利用者に対し、地域で生活するためのリハビリに取り組んでいます。例えば、社会技能トレーニング（路線バスの利用方法、役所や公共施設の手続きや利用方法、金融機関や郵便局の窓口対応など）、日常生活における



入浴、洗濯、部屋の片付けなどの支援です。また、貴重品、お小遣い、服薬管理などを必要な利用者に行うこともあります。共同生活では入居者と職員の交流を、基本的な運営理念と位置づけて医療的な視点を交えて進めています。今後は地域での単身生活を支援する体制作りにも取り組めます。



就労支援～六次化とソーシャルファーム～



鶴居村は酪農と林業を基幹産業とする人口約2,500人の村。そのため、産業の種類は都会に比べ選択肢が限られます。しかし豊かな自然環境と生態系サービスに恵まれた開放的で癒やしを感じられる村です。生活学舎のんきが取り組んでいる就労支援は「地の利」を活かした六次産業（生産者が製造・加工だけでなく販売まで行うこと）。他分野と連携を図り、利用者の経済的自立を目指しています。また、ソーシャルファーム（就労に困難を抱える人たちがサポートを受けながら他の従業員



と共に働く社会的企業）の支援事業なども視野に入れて福祉から起こすイノベーションを目指しています。



多様性と共生社会の創造を

文化、芸能、遊びなどの要素も取り入れた、身体だけでなく人格や社会的立場も含めた総合福祉医療のある「養生と癒やしの邑」を生活学舎のんきは目指します。多様性と共生社会の創造へ共に取り組んでいきませんか。これからの鶴居村を担う若い人材を募集しています。

